

京浜臨海部での燃料電池フォークリフト導入とクリーン水素活用モデル構築実証 (神奈川県横浜市および川崎市、実施代表者：トヨタ自動車株式会社)

実証概要とサプライチェーン図

概要	本事業では、再生可能エネルギーを活用した「CO ₂ フリー水素の製造」に加え、その「貯蔵」「輸送」および「利用」も含めた水素サプライチェーンの構築を通じて、水素利活用における簡易な統合的システムを実現し、将来の地域展開と地球温暖化対策への貢献を目指し、次の4つのテーマで取り組むことを目的としている。 ①風力発電（ハマウイング）により水を電気分解して水素を製造するシステム ②最適な水素供給を行うための貯蔵と輸送の仕組み ③燃料電池フォークリフトの導入利用 ④水素サプライチェーンの事業可能性調査（水素価格、CO ₂ 削減量など）		
事業場所	神奈川県横浜市および川崎市	事業期間	平成27年度～令和2年度

